

国際派日本人養成講座

国史百景(9) キスカ島守備隊を救出せよ(上)

7月27日版

米軍に包囲された孤島の守備隊5千2百名を救出すべく、木村昌福少将率いる艦隊は死地に赴いた。

「国際派日本人養成講座」(http://www2s.biglobe.ne.jp/~nippon/jogindex.htm)では、毎週、新しいコラムが紹介されています。

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心ももてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張ったり、普段は邦字紙を読んでいない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。(ニッケイ新聞編集部)

1. 「村長さんみたいな人」 東西を米軍に挟まれたキスカ島。その死地に飛び込んで、5千2百人もの将兵を救出し、とほ想像するに容易ならざる命令であった。しかし、木村はいつも同じように平然に「承知しました」と答えた。

2. 「帝国の隆昌」と人民の幸「福」 木村昌福は、明治24(1891)年に静岡県に生まれた。父親は雄弁な弁護士であり、かつ改進黨員として演説会にも登壇する地元の名士だった。子が生まれた日に開かれた第二期帝國議會の開院式で明治天皇が「帝国の隆昌」と人民の幸「福」と述べられた一節から、父親は「昌福」と命名した。豊かな家庭で、しかも国家のために尽くす父親の許で育てられたせいで、昌福は自分の事よりも他人の幸福を考へるという性格に育った。

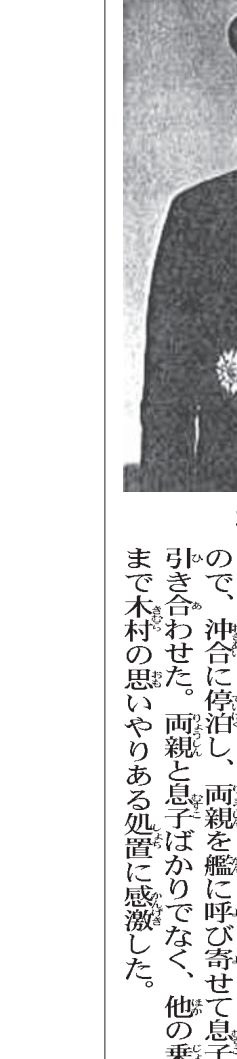
3. 「責任は俺が取るか」 阿武隈に居ると、有近に言った。キスカ島守備隊救出の命令を受けた木村は、「阿武隈」に居ると、有近に言った。とにたく至意、計画を立ててくれ。まず連れていく艦は何にするか。何を連れていくにも俺は先頭艦に乗って黙って立っているから、後は全部貴様に任ずる。

4. 「5割撤収できれば大成功」 救出艦隊の準備としては、5200人の将兵を1時間以内で収容するために、1隻あたり120名が乗れる上陸用舟艇合計22隻を、巡洋艦2隻、駆逐艦6隻に配備した。さらに警戒任務のために最新鋭の「島風」も含め駆逐艦6隻、および給油艦「日本丸」を配備する、という大規模な編成となった。

5. 「もう来ないのじやないか」 7月7日、19時30分、救援艦隊は出撃した。キスカ島突入予定日は1日。島の海軍部隊は湾周辺に駐留していたが、陸軍守備隊は山中に散散しており、突入時に合わせて、何時間前かからキスカ島まで歩いて行かなければならぬ。失敗して難しいのは撤収に成功した場合と、失敗して今後、敵との一戦に備えなければならぬ場合の両方を想定しなければならぬ点だった。それと、武器庫や高射砲、食料庫などを敵に使わせないように時限爆弾を仕掛けた。また敵艦からまた兵が来るように偽装するため、古い軍服を着せた案山子をおちこちに立てた。

6. 「帰ろう。帰れば、また来るのができるからな」 15日は残りの燃料からすると、最後のチャンスだ。午前2時には視界数メートルの濃霧で、キスカ島に「突入す」の暗号電文を打った。受電したキスカ島の電報室では歓声があがった。しかし、時間を追うにつれて、天候が回復し、救援艦隊がキスカ島まで200キロほどに近づくと、視界は開けて2000キロ。時折、青空も見え、阿武隈の艦橋では、木村を中心に、重苦しいムードに包まれていた。周辺の駆逐艦艦長から「本日をおいて決行の日なし。一決断を待たせ」との電文が次々と寄せられた。

7. 針の筵 敵艦が空襲に來ても、防空隊に逃げ込まず、突然と叩めていた。「どうせ死ぬなら、一発で死んだ方がまし。撃たれてもいい」という、あきらめの境地に達してしまっていた。



阿武隈の艦橋では、木村を中心に、重苦しいムードに包まれていた。周辺の駆逐艦艦長から「本日をおいて決行の日なし。一決断を待たせ」との電文が次々と寄せられた。木村は目をこらして、じっと考え込んだ。どのくらい時間が経っただろう。木村はきつと顔を上げ、有近の方を向いて言った。「先任参謀、帰ろう」として誰に言うともなく、つぶやいた。「帰ろう。帰れば、また来るのができるからな」午後1時15分、「突入不能」の電文がキスカ島の電報室に入った。10分後、救援艦隊が帰投するとの情報も入った。兵士たちの落胆は大きかった。「もうだめだ。アツツと同じように玉砕するしかない」。声を発する者はいなかったが、みんなそう思った。

「阿武隈」の艦橋では、木村を中心に、重苦しいムードに包まれていた。周辺の駆逐艦艦長から「本日をおいて決行の日なし。一決断を待たせ」との電文が次々と寄せられた。木村は目をこらして、じっと考え込んだ。どのくらい時間が経っただろう。木村はきつと顔を上げ、有近の方を向いて言った。「先任参謀、帰ろう」として誰に言うともなく、つぶやいた。「帰ろう。帰れば、また来るのができるからな」午後1時15分、「突入不能」の電文がキスカ島の電報室に入った。10分後、救援艦隊が帰投するとの情報も入った。兵士たちの落胆は大きかった。「もうだめだ。アツツと同じように玉砕するしかない」。声を発する者はいなかったが、みんなそう思った。

「高き世界一」で勝負 米遊園地に新施設登場 開業した。最高時速約45キロ、降下時間は10秒弱で、息をのむような迫力を味わえる。中西部カンザス州の「シユリッターバーン・ウオーターパーク」では、51メートルの高さから、いかでか滑り降りるウオーターライダーがオープン。最高時速は100キロを超え、体験した地元の人や観光客が興奮を覚えている。この「ウオーターパーク」は、「迫力満点の乗り心地」と興奮気味だ。またメキシコによる「東部マサチューセツ

サイバー補導220人 スマホ利用98% 庁のまとめで分かった。サイバー補導は、警察が身分を明らかにし、ネット上でやりとりし、書き込みを削除する不適切な書き込みを削除し、全国的に実施する。警察が今年11月18歳未満の少女ら220人をサイバー補導先行して実施し、昨年4月に10都道府県警が加

8. 第2次作戦 7月22日午後8時10分、救援艦隊は再出撃した。突入予定は26日。翌23日は、視界1キロ以下の濃霧で、給油艦「日本丸」と海防艦「国後」が隊列から離れてしまった。「日本丸」とは電話連絡はとれるが位置関係が把握できず、「国後」とは連絡もつかなかった。木村は危険を承知して、高射砲を撃たせ、その音で「日本丸」を誘導した。40分後、「日本丸」が無事、隊列に復帰した。しかし「国後」は依然行方不明だった。突入予定日の26日午後5時44分、濃霧の中で「阿武隈」艦橋の見張り員が「右70度、黒いもの」と叫んだ。その直後、右舷後方で衝突がした。連絡がとれなかった「国後」が突然、姿を現し、衝突したのだ。幸い、両艦とも被害は少なかったが、事故の影響で、突入予定日が29日までずれこんだ。木村は周囲に言い聞かせるような、大きな声で言った。「これだけの事故が起こるほどだから霧の具合は申し分なしということだ。結構なことではないか、なあ艦長」(文責：伊勢雅臣)

妻との思い出

イタジバ 河合五十

1936年、単身でモジでトマト作りをした。大当たりしました。天から降って来るお金を拾うような次第でした。この幸運が5年も続きました。夢にも思わぬお金が入ったので、結婚相手候補が3人ばかり現れました。皆両親のすすめで

その中の一人と結婚しました。人生最大の転機と考へずに結婚したので、これが後々小生に大きな悩みを与えました。妻の父はアルコール中毒、母は糖尿病で良いところなしで苦しみました。結婚後40年ばかりは、妻にも糖尿病が現れ、悩みはますます大きくなりました。

しかし悩んでいるばかりでは致し方ないので、糖尿病は血の糖を消費する事だと知り、小生の好きな旅行をする事にしました。経済的に恵まれていたので、日本に行き大旅行をする事にしました。

各地の温泉につかったのが結果的に良かった。藤森大統領が実現している

ジャポネースガランチード

サンパウロ 田辺豊太郎

百周年した日系コロニアには大和魂が存続している。前モジダスクルーゼス市長、現連邦議員の安倍順二が、二期目を狙って活動して居るのを見たと老移民力を貴うに「政治家である。安部議員には「大統領になれ」と一書いたことがあった。それはモジの市長と二期八年勤め、法律家として退職したのが世評は八十六パーセントだった。思ったことは行政の基には大和魂があった。そして連邦議員に上位で当選した。そして再選への運動である。前文にも書いたが、大統領を目指すべしだ。例えばペルーでは藤森大統領が実現している

児童虐待

サンパウロ 栗木 大樹

児童虐待が今日日本で年間7万件突破、とある。そして件数は前年比10%の増加と、これには私も驚いてしまった。

今の子供は一体どうなっているのか。生まれてから親に愛されず、虐待を受けている。食を奪われ、性被害を受け、命を奪われる。これらは、親の責任である。親は、子供を愛する責任がある。愛を奪われる子供は、心に傷を負う。心に傷を負った子供は、社会で生き残ることができない。児童虐待は、社会の悲劇である。親は、子供を愛する責任がある。愛を奪われる子供は、心に傷を負う。心に傷を負った子供は、社会で生き残ることができない。児童虐待は、社会の悲劇である。



新第二師団物語

サンパウロ 内藤 忠純

新発田第16連隊(新)を敢行し、一挙に戦いの海(仙三第4連隊)宮津津松第24連隊)殊勲を建てております。「福島」を根幹とし編成された、旧日本陸軍屈指の武勲あふれる最精鋭師団。

過る日露の戦役には、猛将黒木將軍率いる第一軍に属し、遼陽の戦いで弓張嶺にて戦史上例の無い師団規模の夜襲

阿部代議士が心にかけている大和魂ですが、これは日本の伝統文化から発したもので、貴方の祖父、父親時代の先輩が伝えてくれたのである。我々はその子孫である。我々の自覚を明確に持つべきである。常々そんな事を考へているので、近頃読んだ本が印象に残った。「二十一世紀」は日本文化の復興である。世界は日本化する。日下

珍奇な兵隊

アマゾン 田口 彪彦

歳を重ねると物忘れが多く、簡単な事でも人の名前も思い出さなくなるといふ。珍奇な兵隊がいた。彼は班長で、兵隊の友に、こんなお話を聞いた。彼は班長で、兵隊の友に、こんなお話を聞いた。彼は班長で、兵隊の友に、こんなお話を聞いた。

原爆と慰安婦

サンパウロ 木村 衛

8月6日は原爆が投下されたから今年で69年目。罪のない人たちが広島と長崎で約20万人が犠牲になった。原爆は、人類の歴史に刻み込まれた。原爆は、人類の歴史に刻み込まれた。原爆は、人類の歴史に刻み込まれた。

金子国栄さん

パラナグア 増田 二郎

金子国栄さんがお亡くなりになりました。金子さんとは、面識はなかりに浅い。金子さんとは、面識はなかりに浅い。金子さんとは、面識はなかりに浅い。

お投稿者におねがい

原稿用紙を使わずに、Eメールでの投稿を歓迎します。その際、お名前と住所を明記してください。また、お名前と住所を明記してください。また、お名前と住所を明記してください。

お投稿者におねがい

原稿用紙を使わずに、Eメールでの投稿を歓迎します。その際、お名前と住所を明記してください。また、お名前と住所を明記してください。また、お名前と住所を明記してください。

よく分る。二十世紀は日本の時代であった。二十世紀は日本の時代であった。二十世紀は日本の時代であった。

珍奇な兵隊の話を聞いた。彼は班長で、兵隊の友に、こんなお話を聞いた。彼は班長で、兵隊の友に、こんなお話を聞いた。

原爆と慰安婦の問題。原爆は、人類の歴史に刻み込まれた。原爆は、人類の歴史に刻み込まれた。原爆は、人類の歴史に刻み込まれた。

金子国栄さんのお訃報。金子さんとは、面識はなかりに浅い。金子さんとは、面識はなかりに浅い。金子さんとは、面識はなかりに浅い。

お投稿者におねがい。原稿用紙を使わずに、Eメールでの投稿を歓迎します。その際、お名前と住所を明記してください。また、お名前と住所を明記してください。また、お名前と住所を明記してください。

靖国献詠歌に13人入賞

大志万の学生も大健闘

靖国神社が「創立記念日祭」と「みたま祭」に合わせて毎年実施する献詠歌・献詠句募集において、伯国から56人が応募し、13人が入賞した。窓口となった靖国トラジャルの浜口イネス会長らとともに5人が本紙を訪れ、喜びを語った。

と祝福した。受賞作品は次の通り(敬称略)。
 ◎伯国が終着駅のが胸
 ◎ふるさとの松茸山の見ゆる駅まだまなうらにブラジルに住む(香山和栄)
 ◎八十年前に移民と降り立ちし駅いまも人の行き交ふ(梅崎嘉明)
 ◎古稀といふ駅に下車せずときを乗せて短き旅に出でたり(足立富士子)
 ◎人命は旅と同じだかく駅で変化していくけしきのやうだ(丸藤小川恵市ウイリアン)
 ◎からっぽな私の心どこにある心やすらぐ私の駅

に短歌の線路を敷きてたどらむ(山岡秋雄)
 ◎喜びと悲しい感じめくりあひ出会うと別れ駅はすてきね(名和裕貴ウイリアン)
 ◎流燈や見えずなりても見送られ(菊池信子)
 ◎郷愁の色に咲きたる桜かな(杉本紘一)
 ◎幸あれど梅をかみしむ夜半の秋、牡蠣むきて厨は遠かな海の香に(武田知子)
 ◎たもとほる母亡き里の蝉しづめ(富岡絹子)
 ◎花冷えの空どこまでも青きまま(脇山千寿子)

紙面の都合により、本日の連載「松原家に伝わる安太郎伝」は休載します。

紙面の都合により、本日の連載「松原家に伝わる安太郎伝」は休載します。

紙面の都合により、本日の連載「松原家に伝わる安太郎伝」は休載します。



受賞者の皆さん

に兄と二人で夜校を見たのを思い出して詠んだと振り返った。
 松本・大志万学院からは、2012年の訪日使節団に参加した名和裕貴ウイリアン、丸藤小川恵市ウイリアン、藤西松千恵美パトリシアさんが入賞。3人とも16歳の三世だ。百人一首を覚えたり短歌を作ったりと、授業で格式ある日本語にも触れているという。

名和君は「短歌は自分の考えを表現できる所が好き。自分の生涯を通じて命が変化する様子を旅に見立てた」と話し、初受賞に笑顔を見せた。同会理事の上妻博彦さんは、「大勢受賞してびっくり。若い人の純粋な気持ちが感じられた」と期待に胸を膨らませた。

「今年が甘い」と太鼓判
 サンジェル・アルカン(S. J. Arcan)で「第2ニヤール文化体育協会」(徳久後行会長)が、9月6日午前9時から「近年びわの生産が増え

猛者たちを打ち負かし、柔道の海外普及にまい進した。
 排日意識がない植民地を求めたり着意したアマゾン開拓を決定し、日本人の同地入植を訴えた。友人に宛てた本人の手紙などを引き合いに出し、マリリアの魯威や南極社の破綻を乗り越え、胡椒の一大生産地として大成する背景など波瀾の人生を辿った。

高野書店、フオノマギ竹内書店、ブラジル日系文学会事務所でも取り扱っており、収益は同県人会の運営費に充てられる。問い合わせは同県人会(11・3207・1599)まで。

本紙の都合により、本日の連載「松原家に伝わる安太郎伝」は休載します。

おやじが佛教会に寄せた期待は完全に無視され、今回の噴水塔には「勝ち組」への協力は僅少にとどまった。
 思い起こせば、51年から52年頃に汎パウリスタ相撲大会の折にも「負け組」は完全に無視されたことがあった。そればかりか、「日本の野蛮極まる祭典」だと伯人間に逆宣伝したこともあった。

その昔、戦争前に、今の「負け組」がドウアルチーナを牛耳っていた頃には相撲大会を得ずと行っていたというの。立場が変わると日本を代表するスポーツ、相撲のことを「野蛮な日本人の裸踊りだ」と言うことになる。勝手に卑劣な人種がその昔、指導階級だと自称していた連中だ。今の亡国認識派は、非日本人というより救いがたい人種だ。水と油の様に相反する思想はどこまで続くのだろうか。

月日は流れ、新しい時代となり。世間一部で危ぶまれていた稼業も順調に進み、呉服物の外にミシンや家具類も扱い商売は繁盛していたが、家族の必要に応じてまたもや進路を変える事になった。
 どうアルチーナという町は、一部にコーヒー園が残っているが、急速に増えた綿花の栽培地である。30年代からの移民全盛期にコロノとして苦勞してきた人達が長期のコロノ生活を終り、自由になったものの、独立は夢となり、前途も見えずに疲労困憊していた頃に迎えた綿花の世界的な大需要。

当時のパウリスタ延長線は、世界的な大不況の為、コーヒーは安いに輸出も出来ず、政府が買い上げて昼夜焼き続け、長い年月、お日様も見えなかつた程だ。ブラジル始まって以来の大不況時代に浮上した綿花栽培。ドウアルチーナに残されていた千石の大原始林は1933から1935年にかけて跡形もなかり、棉畑と化したという。
 そうした歴史の申し子な町だから、教育機関はお寒い限りで、1960年に小学校が3校、中学校もやっと開校したばかり。兄弟の娘たち2人はパウロで師範学校を出たものの、働きた都合で、勤めると言っても田舎町の銀行くらいだが、そこにも働きた口は無い。飯にあってたとしても、町の有力者の子女が優先される。まだ次々と後があるのだから、ここは思い切つてサンパウロに行くのが賢明だと、サンパウロ行きが決まった。両親や兄と共に第二二人は同行するが、私の場合事情が違つてきた。結婚もして3人の子供が出来ていたが、家内が重度の神経衰弱となり、静かに養生に努めようと言ふ事になった。そこで、家族はサンパウロ行きが決まり、我々は家内の家族の近くに残るために、トゥッパンへ引越すことになった。今まで喜びも悲しみも分かち合い、兄妹助け合つて生きてきた。その道程を振り返ると、「一緒にサンパウロに行けたら……」の思いは募り、夜毎の枕が涙で濡れる程辛い。だが仕方がない。これも人生だ。諦めよう。諦めよう。ブラジルに来た運命。様々な苦業のもと共に過ごしてきた運命。そして今、それぞれの道を進んで行く。これもまた運命。様々な人の想いが交差するなか、時に運命に従い、時には逆らいつながら生きていく。それが人生だ。

おやじが佛教会に寄せた期待は完全に無視され、今回の噴水塔には「勝ち組」への協力は僅少にとどまった。
 思い起こせば、51年から52年頃に汎パウリスタ相撲大会の折にも「負け組」は完全に無視されたことがあった。そればかりか、「日本の野蛮極まる祭典」だと伯人間に逆宣伝したこともあった。

おやじが佛教会に寄せた期待は完全に無視され、今回の噴水塔には「勝ち組」への協力は僅少にとどまった。
 思い起こせば、51年から52年頃に汎パウリスタ相撲大会の折にも「負け組」は完全に無視されたことがあった。そればかりか、「日本の野蛮極まる祭典」だと伯人間に逆宣伝したこともあった。

福井の還暦野球団が来伯

親善試合や指導会で交流

福井県大野市の還暦軟式野球チーム「G.C.大野」と、ソフトボールチーム「大野クラブ」などのメンバー16人が21日に交流試合のため来伯し、同日本紙を訪れ意気込みを語った。女子ソフトボールの指導者で主将の近藤聖功

さん(64、高知)は「子どもたちとの指導講習会も予定しているの。経歴を生かして技術向上に努めたい」、監督の杉山敏雄さん(67、高知)は「初めての海外交流、中々ない機会なので、楽しくプレーできれば」と話した。

2007年パン・アメリカン大会で、伯国女子ソフトボール代表の臨時コーチを務めた水上健次郎代表(72、高知)は、「より強固な交流を継続するため、2、3年おきにでもチーム往來を實踐したい。両国の架け橋になりたい」と話した。

「今年が甘い」と太鼓判
 サンジェル・アルカン(S. J. Arcan)で「第2ニヤール文化体育協会」(徳久後行会長)が、9月6日午前9時から「近年びわの生産が増え



来伯した一団

開催された。びわをはじめ、アトモイアなど同地産の旬の果物、ジャムやピンガなど果物の加工品が展示販売される。びわ農家を巡るトレッキングツアー、食べもの販売や折り紙、生け花講座、カラオケ、ダンス、太鼓ショー、東洋マッサージなど余興も。案内のため来社した

徳久会長と山下高広実行委員長は「今年のびわはとて甘い。コロニア村全員で歓迎するので、家族連れでお越しください」と呼びかけた。問い合わせは同会(11・99755・5375)、徳久会長 同・3298・1170)まで。

初応募に見事受賞した足立富士子さん(69、愛知)は、6月29日に同神社であった受賞式にも出席。「普通は入れない本殿まで入れさせて貰った。あんな感激したことはない」と目を輝かせる。あらかし短歌会に20年。「人生の区切りを駆けつけ、下車せず前に進みたい、やりたいことを思いきりやってみよう」と話した。

「今年が甘い」と太鼓判
 サンジェル・アルカン(S. J. Arcan)で「第2ニヤール文化体育協会」(徳久後行会長)が、9月6日午前9時から「近年びわの生産が増え

徳久会長と山下高広実行委員長は「今年のびわはとて甘い。コロニア村全員で歓迎するので、家族連れでお越しください」と呼びかけた。問い合わせは同会(11・99755・5375)、徳久会長 同・3298・1170)まで。



山下実行委員長と徳久会長

徳久会長と山下高広実行委員長は「今年のびわはとて甘い。コロニア村全員で歓迎するので、家族連れでお越しください」と呼びかけた。問い合わせは同会(11・99755・5375)、徳久会長 同・3298・1170)まで。

徳久会長と山下高広実行委員長は「今年のびわはとて甘い。コロニア村全員で歓迎するので、家族連れでお越しください」と呼びかけた。問い合わせは同会(11・99755・5375)、徳久会長 同・3298・1170)まで。

徳久会長と山下高広実行委員長は「今年のびわはとて甘い。コロニア村全員で歓迎するので、家族連れでお越しください」と呼びかけた。問い合わせは同会(11・99755・5375)、徳久会長 同・3298・1170)まで。

徳久会長と山下高広実行委員長は「今年のびわはとて甘い。コロニア村全員で歓迎するので、家族連れでお越しください」と呼びかけた。問い合わせは同会(11・99755・5375)、徳久会長 同・3298・1170)まで。

徳久会長と山下高広実行委員長は「今年のびわはとて甘い。コロニア村全員で歓迎するので、家族連れでお越しください」と呼びかけた。問い合わせは同会(11・99755・5375)、徳久会長 同・3298・1170)まで。

徳久会長と山下高広実行委員長は「今年のびわはとて甘い。コロニア村全員で歓迎するので、家族連れでお越しください」と呼びかけた。問い合わせは同会(11・99755・5375)、徳久会長 同・3298・1170)まで。

徳久会長と山下高広実行委員長は「今年のびわはとて甘い。コロニア村全員で歓迎するので、家族連れでお越しください」と呼びかけた。問い合わせは同会(11・99755・5375)、徳久会長 同・3298・1170)まで。

徳久会長と山下高広実行委員長は「今年のびわはとて甘い。コロニア村全員で歓迎するので、家族連れでお越しください」と呼びかけた。問い合わせは同会(11・99755・5375)、徳久会長 同・3298・1170)まで。

徳久会長と山下高広実行委員長は「今年のびわはとて甘い。コロニア村全員で歓迎するので、家族連れでお越しください」と呼びかけた。問い合わせは同会(11・99755・5375)、徳久会長 同・3298・1170)まで。

徳久会長と山下高広実行委員長は「今年のびわはとて甘い。コロニア村全員で歓迎するので、家族連れでお越しください」と呼びかけた。問い合わせは同会(11・99755・5375)、徳久会長 同・3298・1170)まで。

徳久会長と山下高広実行委員長は「今年のびわはとて甘い。コロニア村全員で歓迎するので、家族連れでお越しください」と呼びかけた。問い合わせは同会(11・99755・5375)、徳久会長 同・3298・1170)まで。

徳久会長と山下高広実行委員長は「今年のびわはとて甘い。コロニア村全員で歓迎するので、家族連れでお越しください」と呼びかけた。問い合わせは同会(11・99755・5375)、徳久会長 同・3298・1170)まで。

徳久会長と山下高広実行委員長は「今年のびわはとて甘い。コロニア村全員で歓迎するので、家族連れでお越しください」と呼びかけた。問い合わせは同会(11・99755・5375)、徳久会長 同・3298・1170)まで。

徳久会長と山下高広実行委員長は「今年のびわはとて甘い。コロニア村全員で歓迎するので、家族連れでお越しください」と呼びかけた。問い合わせは同会(11・99755・5375)、徳久会長 同・3298・1170)まで。

Beneficência Nipo-Brasileira de São Paulo
 Hospital Nipo-Brasileiro
 Centro Médico Liberdade
 ENKYO
 サンパウロ日伯援護協会
 リベルダーデ医療センター
 一般外来 人間ドック 歯科
 ◎内科は月曜日から土曜日予約不要(月～金 7時半～16時半/土 8時～11時半)
 ◎検査、各科専門医、歯科 要予約
 ◎人間ドック(Check-up (要予約))は、半日余りで全検査終了
 ◎各種保険取り扱い ※海外保険適用有り
 ◎訪日される方の健康診断書や定期健診の結果を日本語で発行
 ・診察予約 (11) 3274-6508/6545
 ・歯科予約 (11) 3274-6501/6551
 ・人間ドック予約 (11) 3274-6495/6569
 ・お問い合わせ (11) 3274-6555/6500
 Rua Fagundes, 121 - Liberdade - São Paulo - SP
 ※地下鉄São Joaquim駅より徒歩5分
 www.enkyo.org.br

不妊でお悩みですか?
 お気軽に相談ください
 Tel: 5083-6934 5083-5995
 NIPOFERT
 CENTRO DE MEDICINA REPRODUTIVA NIPO-BRASILEIRA

Shiatsu 指圧・整体・針灸で
 腰痛ヒザの痛み、首の痛み、
 坐骨神経の痛み
 Prof. Minoru Kohkura
 Tel: (11) 3262-0835
 Av. Paulista, 509 Sala 7 (メトロ・プリガデロ近く)

PC Liberdade
 パソコンのことなら 修理/販売
 何でもおまかせ 日本語化等
 Windows7 正規版 格安販売中!
 (11) 98558-7552 / (11) 3271-4748

プロポリス専門店
 プロポリス有名ブランド各種
 ●アガリクス ●健康食品全般
 ムラサン健康食品
 MURA-SAN COMERCIO LTDA.
 Rua Galvão Bueno, 364 - Box 03
 CEP 01506-000 - Liberdade - São Paulo - SP
 Tel/Fax: (11) 3207-4490 - E-mail: murasanenkyo@uol.com.br
 (日本への発送もしておりますので、ご利用下さい)

泌尿器科専門
 医学博士 山田 レナット
 Dr. RENATO YAMADA
 Consultório Médico
 <<診療時間>>月・火・木曜/午後1時30分～4時まで>>
 Praça Amadeu Amaral, 47 - 12º andar
 Bela Vista - São Paulo - SP
 Tel/Fax: (11) 3251-0051 / 3251-4276

a kenko Hirose
 健康食品
 プロポリス・アガリクス専門店
 日本への発送もしております。
 Rua Barão de Iguape, 208 - Liberdade - São Paulo
 (パロン・デ・イグアッペ街とガルボン・フェノの角)
 Tel: (11) 3271-5608 ● Fax: (11) 3271-5716
 E-mail: kenkohirose@uol.com.br

自分史
 子供移民の半生記
 中野文雄 (最終回)

Beneficência Nipo-Brasileira de São Paulo
 Hospital Nipo-Brasileiro
 ENKYO
 サンパウロ日伯援護協会
 日伯友好病院
 優良病院認定
 日本語対応!
 ※年中無休・緊急対応24H
 ・特殊検査、入院や手術等に対応出来る総合病院
 ・誠実な対応と質の高い医療サービス提供
 ・最新の医療設備と優秀な医師団
 ・各種保険、海外保険適用有り
 病院行きバス
 Metrô Tatuapé 172X-10
 Metrô Santana 271A-10
 Pq. D. Pedro II 272N-10
 Tel: (11) 2633-2200/2282
 Rua Pistóia, 100 - Pq. Novo Mundo - São Paulo
 www.enkyo.org.br

しん りん の う ほ う ふ き ゆ う ほ ん か く か

森林農法の普及本格化へ

大西岸 洋 森 林

ジュサラで持続的収入を

小農支援にNPOが助成

聖州を中心とした大西洋岸森林(マッタ・アトランチカ)の保全再生と小農支援を目的に、NPO法人「VERSTA」(東京都)による「ジュサラ椰子樹を主体とした小農の森林農法(アグロフォレストリ)推進プロジェクト形成事業」が本格的に始動した。今年から正式に3年間の助成金交付(初年度は約200万円)を決め、8月18、19日に現地で見学交流や視察を行ったが、地元住民の関心の低さなど課題が浮き彫りとなった。

地元の意識の低さが課題



現地視察時に認定する有識者、農作物を手入れする技術、知識も乏しいようだ。VERSTAが2年前に設置協力した苗床は今も「無法地帯」に

森林農法は、複数の商品作物を重層的に一つの畑に植えることで、自然に近い環境を残した形で生産をする。共生型農法としてアマゾン地方を中心に注目を集めている。VERSTA専務理事の小野瀬由一さん(61)、山形は、セツ・パラス文協で行なわれた意見交流会で関係者約30人を前に、「貧困コミュニティ(小農)の安定的収入支援」「違法伐採による環境破壊が顕著」と同地での発展理由を強調し、「本格始動の1年目。これからの展望と現状確認、課題を議論したい」と呼びかけた。

「音楽で日伯の国際交流を」

大阪ジュニアバンドが公演

サンパウロ・大阪姉妹都市提携45周年を記念して大阪ジュニアバンドが来伯し、17日に聖市のブラジル文化福祉協会の小講堂で演奏会を行い、約200席が満席になった。同バンドは10歳から15歳までの約150人の小、中学生で編成され、5、6年に一度の割合で海外公演を行っている。今回はその中から

聖市との姉妹都市45周年



演奏後、創価学会音楽隊と記念撮影をする大阪ジュニアバンドの子供達

「音楽で日伯の国際交流を」をテーマに、大阪ジュニアバンドが来伯し、17日に聖市のブラジル文化福祉協会の小講堂で演奏会を行い、約200席が満席になった。同バンドは10歳から15歳までの約150人の小、中学生で編成され、5、6年に一度の割合で海外公演を行っている。今回はその中から

ちがって着音し、最後には観客からの大歓声が沸き起こっていた。

アンコールの最後には創価学会音楽隊と一緒に「ふるさと」を演奏し、口ずさむ人や声援を送る人もいて、観客の熱い反響に子供も感動、興奮した様子だった。

「日本の心の歌」が開催され、会場は満員になった。今年で14年目を数える同催しは、歌い手も観客も毎年必ず参加する人がいる程の人気の高い催しだ。

「日本の心の歌」盛大に開催

全54曲を熱く歌い上げる

「日本の心の歌」が開催され、会場は満員になった。今年で14年目を数える同催しは、歌い手も観客も毎年必ず参加する人がいる程の人気の高い催しだ。



歌謡ショーの様子

「日本の心の歌」が開催され、会場は満員になった。今年で14年目を数える同催しは、歌い手も観客も毎年必ず参加する人がいる程の人気の高い催しだ。

「日本の心の歌」が開催され、会場は満員になった。今年で14年目を数える同催しは、歌い手も観客も毎年必ず参加する人がいる程の人気の高い催しだ。

「日本の心の歌」が開催され、会場は満員になった。今年で14年目を数える同催しは、歌い手も観客も毎年必ず参加する人がいる程の人気の高い催しだ。

「日本の心の歌」が開催され、会場は満員になった。今年で14年目を数える同催しは、歌い手も観客も毎年必ず参加する人がいる程の人気の高い催しだ。

「日本の心の歌」が開催され、会場は満員になった。今年で14年目を数える同催しは、歌い手も観客も毎年必ず参加する人がいる程の人気の高い催しだ。

「日本の心の歌」が開催され、会場は満員になった。今年で14年目を数える同催しは、歌い手も観客も毎年必ず参加する人がいる程の人気の高い催しだ。

「日本の心の歌」が開催され、会場は満員になった。今年で14年目を数える同催しは、歌い手も観客も毎年必ず参加する人がいる程の人気の高い催しだ。

「日本の心の歌」が開催され、会場は満員になった。今年で14年目を数える同催しは、歌い手も観客も毎年必ず参加する人がいる程の人気の高い催しだ。

「日本の心の歌」が開催され、会場は満員になった。今年で14年目を数える同催しは、歌い手も観客も毎年必ず参加する人がいる程の人気の高い催しだ。

「日本の心の歌」が開催され、会場は満員になった。今年で14年目を数える同催しは、歌い手も観客も毎年必ず参加する人がいる程の人気の高い催しだ。

「日本の心の歌」が開催され、会場は満員になった。今年で14年目を数える同催しは、歌い手も観客も毎年必ず参加する人がいる程の人気の高い催しだ。

「日本の心の歌」が開催され、会場は満員になった。今年で14年目を数える同催しは、歌い手も観客も毎年必ず参加する人がいる程の人気の高い催しだ。

「日本の心の歌」が開催され、会場は満員になった。今年で14年目を数える同催しは、歌い手も観客も毎年必ず参加する人がいる程の人気の高い催しだ。

「日本の心の歌」が開催され、会場は満員になった。今年で14年目を数える同催しは、歌い手も観客も毎年必ず参加する人がいる程の人気の高い催しだ。

「日本の心の歌」が開催され、会場は満員になった。今年で14年目を数える同催しは、歌い手も観客も毎年必ず参加する人がいる程の人気の高い催しだ。

「日本の心の歌」が開催され、会場は満員になった。今年で14年目を数える同催しは、歌い手も観客も毎年必ず参加する人がいる程の人気の高い催しだ。

「日本の心の歌」が開催され、会場は満員になった。今年で14年目を数える同催しは、歌い手も観客も毎年必ず参加する人がいる程の人気の高い催しだ。

大耳小耳

「大耳小耳」は、環境を重視する中長期的な見方を理解する必要がある。ジュサラ椰子樹は現在、連邦政府が肝心の地元セツ・パラス市市長らの関心が薄い。その日系市長は「バナナ、ブルーベリーの方が収穫が早く、経済的」とコメントし、環境を重視する中長期的な見方を理解する必要がある。

「大耳小耳」は、環境を重視する中長期的な見方を理解する必要がある。ジュサラ椰子樹は現在、連邦政府が肝心の地元セツ・パラス市市長らの関心が薄い。その日系市長は「バナナ、ブルーベリーの方が収穫が早く、経済的」とコメントし、環境を重視する中長期的な見方を理解する必要がある。

「大耳小耳」は、環境を重視する中長期的な見方を理解する必要がある。ジュサラ椰子樹は現在、連邦政府が肝心の地元セツ・パラス市市長らの関心が薄い。その日系市長は「バナナ、ブルーベリーの方が収穫が早く、経済的」とコメントし、環境を重視する中長期的な見方を理解する必要がある。

「大耳小耳」は、環境を重視する中長期的な見方を理解する必要がある。ジュサラ椰子樹は現在、連邦政府が肝心の地元セツ・パラス市市長らの関心が薄い。その日系市長は「バナナ、ブルーベリーの方が収穫が早く、経済的」とコメントし、環境を重視する中長期的な見方を理解する必要がある。

www.nikkeishimbun.com.br

ニッケイ新聞

【営業時間】
月曜～金曜日：祝日を除く
午前9時～午後4時

(11) 3340-6060

Rua da Glória, 332
Liberdade
CEP 01510-000
São Paulo - SP

【購読】
nikkeishimbun@
yahoo.com.br

【広告】
anuncio@nikkeishimbun.jp

NEOVISIE Oftalmologia

中野眼科 ブラジル眼科学会
認定の眼科専門医

5548-7802

白内障・緑内障・糖尿病や高血圧に対しての網膜病、
レーザー光線での近視・遠視・乱視の手術

CIRURGIA de CATARATA, GLAUCOMA, TRATAMENTO de
DOENÇAS da RETINA, CIRURGIA a LASER

日本語が通じて安心出来るスタッフが対応します。

Rua Machado Bittencourt, 205 Cj. 93 Vila Mariana
METRÔ STA. CRUZ 駅より徒歩約2分です。

納骨仏壇分譲のご案内

この度、新館大鑑閣内に納骨
仏壇を新たに設置いたし皆様方
に分譲しています。

寸法は32センチx30センチ
x50センチ(奥行き)です。
詳細につきましては曹洞宗佛心
寺までお問い合わせ下さい。

曹洞宗両大本山南米別院佛心寺

Rua São Joaquim, 285 - Liberdade - São Paulo - SP
Tel: (11) 3208-4515 / 3208-4345

ESPECIAL

Comunidade Okinawana de Campo Grande (MS) comemora 100 Anos de Imigração

A Comunidade Okinawana residente em Campo Grande (MS) comemora este ano 100 Anos de Imigração. Para marcar a data, a Associação Okinawa de Campo Grande realizou evento comemorativo no mês de agosto cujo ponto alto foi a vinda de delegações da Província de Okinawa para os festejos realizados nos dias 13 e 14. Entre os membros da comitiva oficial estavam o vice-governador de Okinawa, Kurayoshi Takara; o prefeito de Naha (capital da província), Takeshi Onaga; o prefeito de Nago, Susumu Inamine; e o presidente da Assembleia Legislativa de Okinawa, Masaharu Kina, além de deputados, empresários e jornalistas. Estiveram presentes também representantes de associações okinawanas do Havaí (Estados Unidos) e da Bolívia, totalizando cerca de 70 pessoas.

No dia 13, a agenda da comitiva em Campo Grande incluiu visita ao governador de Mato Grosso do Sul, André Puccinelli; visitas ao Museu Dom Bosco; às obras do Aquário do Pantanal e ao 9º Festival do Sobá da Feira Central da Capital, que este ano comemorou os Centenários da Imigração Japonesa de Okinawa em Campo Grande e da instalação da Ferrovia da Capital (194-2014).

Destaque também para a inauguração do Memorial do Centenário da Imigração Japonesa em Campo Grande.

Os japoneses também visitaram monumentos da Capital, comércio e pontos turísticos como o Parque das Nações. No 9º Festival do Sobá - que integrou o calendário dos 115 anos de Campo Grande - saborearam o tradicional prato típico de Okinawa, considerado patrimônio cultural imaterial de Campo Grande.

No dia 14, a programação teve início com uma visita ao



Um dos pontos altos da visita das delegações okinawanas foi a inauguração do Memorial do Centenário



Kurayoshi Takara discursa observado por Olarte e Shirado

prefeito de Campo Grande, Gilmar Olarte, e prosseguiu na sede da Associação Okinawa de Campo Grande.

Para o presidente da Associação Okinawa de Campo Grande (MS), Nilton Kiyoshi Shirado, a data deve ser lembrada com orgulho por todos os descendentes de Okinawa.

Orgulho - "Agora, fazendo uma reflexão, vemos que temos motivos para comemorar e afirmar que o sacrifício de nossos ancestrais valeu a pena porque em 100 anos de imigração mudamos do tra-

balho braçal para ocuparmos as mais variadas atividades, seja como profissionais liberais, seja como empresários. Hoje, temos atuações destacadas também na sociedade brasileira, com participação também na política", explica Shirado, lembrando que o atual Edson Kiyoshi Shimabukuro, um dos atuais vereadores de Campo Grande, é descendente de okinawanos.

Hoje, segundo seus cálculos, residem em Campo entre 10.500 e 11 mil descendentes de okinawanos, o que faz de Campo Grande a segunda

maior cidade com concentração de japoneses originários daquela província.

Atualmente, a Associação Okinawa de Campo Grande,



Festival do Sobá comemorou os 100 anos da Imigração Okinawana

fundada em 1922, conta com cerca de 500 famílias associadas.

Segundo Shirado, o Centenário também é motivo de orgulho "pois tivemos a oportunidade de homenagear nossos antepassados com a inauguração do Memorial do Centenário da Imigração Japonesa em Campo Grande".

Trajectoria - Uma história

que teve início em 1914, com fim da construção da estrada de ferro Noroeste do Brasil. "Logo após ajudar na construção da ferrovia, os pioneiros fixaram residência em Campo Grande", conta ele, lembrando que as primeiras atividades eram a fabricação de cachaça e o cultivo de café e hortifrutigranjeiros.

Com muito trabalho e, sobretudo, perseverança, os primeiros imigrantes deixaram um legado que é reconhecido até nos dias atuais.

"Somos muito gratos à população de Mato Grosso do Sul e, em especial, de Campo Grande, pela forma carinhosa como acolheram os primeiros imigrantes", destaca Shirado, acrescentando que, "sem dúvidas somos frutos do esforço de nossos ancestrais que nos permitiram estudar e valorizar aquilo que temos de mais importante: a nossa família".

Para Eiki Shimabukuro, vice-presidente da Associação Okinawa Kenjin do Brasil, com sede em São Paulo, a festa foi linda e inédita no país. "Trata-se de uma homenagem inédita no país, um marco, que representa passado, presente e futuro, e gravado na pedra, como é costume lá, mostra a amizade feita e que dure para sempre", disse.

(Aldo Shiguti com Portal da PMCG)

ICHIBANII
MAURAE CELIA
SOBÁ

SOBÁ - ESPETO - DOBRADINHA - YAKISOBA - PEIXE - YAKIMESHI
PICANHA NA CHAPA - FRANGO XADREZ - PASTEL - SUCO

Célia / Maura
Quarta, Sexta e Sábado FEIRA CENTRAL
(67) 3317-4690

Bem-Vindo
a Campo Grande

BARRACA DO TAIRA

- ✓ Sobá
- ✓ Rabada
- ✓ Yakisoba
- ✓ Espetos
- ✓ Yakimeshi
- ✓ Dobradinha
- ✓ Frango Xadrez
- ✓ Filé de Pintado
- ✓ Tilápia ao Molho
- ✓ Picanha na Chapa

Barraca do Taira agora no Facebook
Feira Central - Campo Grande / MS
Fone: (67) 3384-7728 / 9984-6067

26 Anos Tradição
Barraca Aparecida
Feira Central

Sobá, Espetinhos, Yakisoba
Picanha na Chapa, Peixes e Outros

Quintas - Cabreúva e Vila Célia
Fone: (67) 9280-0434
R. 14 de Julho, 3351 - Feira Central - Campo Grande-MS

BARRACA DA NÍRIA
KATSUREN Família Pioneira em Sobá na Feira Central

sobá - yakisoba - yakimeshi - peixe - dobradinha - picanha na chapa
espetinho de filé mignon, picanha, contra filé e frango c/ bacon

Takeishi Katsuren
Niria Nishihira Katsuren
ニッケイ新聞代理人

BARRACA TÓKIO

東京
勝連 源河 隆子
Helio Akira Guenga

ありがとうございます
ございます

Barraca do **FERNANDO**
Fernando Aguenta
Feira Central

JADI SOBÁ
Feira Central

SOBÁ
YAKISOBA
FRANGO XADREZ
DOBRADINHA
ESPETINHO
TEMPURA
KARAGUE
CALDO DE PIRANHA
CALDO DE MOCOTÓ
CARNES NA CHAPA
PEIXES
BEBIDAS
SUCOS

NILO SEIZO TAMASIRO
JADI MIYASSATO TAMASIRO
NILSON SEIZO TAMASIRO

Aceitamos:

Servimos almoço
Quarta, Sábado e Domingo

Temos massa caseira para sobá
3317-4638 Cel. 9652-4300

BARRACA DA HELENA
Barraca da Helena
福地エレーナ
Feira Central

BARRACA DA SANDRA

SABADO E DOMINGO
FAZEMOS ALMOÇO

- ✓ YAKISOBA
- ✓ PASTEL
- ✓ SOBÁ
- ✓ ESPETOS

Horário de Funcionamento
Aberto as Quarta-feiras, sexta-feira, Sábado e Domingo
9105-3569

Sobá da **Patricia**

Luis Carlos Fukuchi
福地 ルイス カルロス
(67) 9107-5725
Rua 14 de Julho, 3351 - Feira Central - Campo Grande-MS

SH
Grupo **SHIRASHI**

- Auto Posto Norte Sul Ltda. Fone: (67) 3385-6760
- Auto Posto Shima Ltda. Fone: (67) 3346-3812
- Auto Posto Shirashi II Fone: (67) 3351-3909
- Auto Posto Shirashi III Fone: (67) 3386-1519

Masayoshi Yasuko Naka
名嘉 正良 アルゼンチン丸
1959年12月8日 サントス港着
1959年12月25日 カンベン移住地着
名嘉 康子 (旧姓有籍) チサダネ号
1958年6月1日 ポルビア着
1958年9月15日 カンボグランデ転住

Rua Paulo Freire, 224 - Jardim América
CEP 79080-140 - Campo Grande/MS - Brasil
Tel: 55 67 3342-2669
Fax: 55 67 3342-2747

Sin Med MS
SINICATO DOS MÉDICOS DE MATO GROSSO DO SUL

O Presidente do Sindicato dos Médicos de Mato Grosso do Sul, Dr. Valdir Shigueiro Siroma, MSc PhD, em nome da classe médica homenageia a comunidade japonesa de Okinawa pelo seus 100 anos.

Valdir Shigueiro Siroma
Presidente - MSc PhD
Triênio 2014/2017
67 9981.5099
siromas@uol.com.br
www.sinmeds.org.br

Chácara Seitoku
Pesque e pague boa Vista

Seitoku Claudino Masahiro Kohakura
9618-3267
(Mato Grosso do Sul - 9 km de Campo Grande - MS (junto de R. Compadec)

CAMVA
COOPERATIVA AGRÍCOLA MISTA DE VALDEZ ALEGRE

Parabenizamos os 100 anos da
Imigração Japonesa de Okinawa em Campo Grande!

OVOS CAMVA
Desde 1962

ADM: Rua 26 de Agosto, 725
Campo Grande / MS
Fone: (67) 3383-1732
E-mail: camva@terra.com.br

ジウマール・オラルテ
カンボ・グランデ市長



Parabéns a toda colônia japonesa pelos 100 anos de imigração, sempre contribuindo para o desenvolvimento de Campo Grande, em todos os seus setores. Eu, Gilmar Olarte, prefeito de nossa Capital, espero poder colaborar com vocês, mas também contar com a sabedoria oriental e a proatividade para inovação e criação, singulares ao povo japonês. Vamos juntos trabalhando muito. Seguindo rumo ao nosso maior objetivo: formar uma sociedade mais justa, digna e solidária, nos inspirando com vossa determinação, persistência, trabalho, disciplina e uma cultura que nos faz crescer e sermos esta cidade maravilhosa que é a nossa Campo Grande.

Viva o Centenário!
Viva Campo Grande!

GILMAR OLARTE
Prefeito de Campo Grande



功労者に感謝状を贈る稲嶺市長

ジウマール市長を訪問

「日本企業の進出歓迎」



町村会の志喜屋文康団長（恩納村市長）とジウマール市長



名護市訪問団

ソバフェスティバル開催

慶祝団から驚きの声続々



中央市場の入り口には巨大な沖縄ソバのモニュメントも



日本ダンスグループ「サクラ」のコーラス



高良副知事から記念品を受け取るアルヴィラ会長

名護市出身者とその子弟が作る「名護郷友会」(宮里和直会長)は12日夜、稲嶺進市長をはじめとする名護市訪問団5人を迎え、歓迎会を行った。同市に居住する沖縄県民中、およそ7割が名護市系といわれ、一同は「名護んちゅ」の絆を確かめた。

「慶祝団」一行は14日、オラルテ市長と面会し、訪問団ごとに市長室で歓談し、記念として沖縄の特産品等を贈った。慶祝団が「沖縄県民を受け入れてくれてありがとう」と改めて感謝を述べた。

「名護んちゅ」の絆新たな出身者が市長囲み、歓迎会

に盛られたソバに、醤油をたらして食べるのがカンボ・グランデ流。市内各地にそば専門店が5店以上、10以上の製麺店に、10以上の製麺工場があるという。そんな独自の進化を遂げた沖縄ソバに、慶祝団メンバーの多くは「母国にそばと別物」と驚きを見せた。

「名護んちゅ」の絆新たな出身者が市長囲み、歓迎会

祝福のため聖市から訪れた野村流音楽協会ブラジル支部の知念宏吉会計は、「僕は沖縄そばが好き。知り合いのそば店に行ってみただけ、麺も手打ちで美味しかった」と話していた。

「郷土食」前面アピール

「第9回ソバフェスティバル」が7日から10日間、開かれた。通常の開催期間は4日間だが、今年には沖縄県民移民百年と鉄道敷設百年を記念し、期間を延長。慶祝団一行も13日夜に中央市場(Feira)を訪れた。毎年8月に開催される「ソバフェスティバル」は、今年も約8万人の客が訪れる。フェスティバルは、バフェスタイル音楽コンクール優勝曲などの余興を楽しんだ。同郷光協会のアルヴィラ・アツベル・ソアレス・デ・メロ会長に記念品を贈呈後、ソバ店「アパレシダ」で同市特製沖縄そばを試食した。



名物沖縄ソバを試食する皆さん

「名護んちゅ」の絆新たな出身者が市長囲み、歓迎会

TRAVEL way
Viagens, Turismo e Eventos
人をつなぐ旅と心

トラベルウェイ旅行・イベント有限会社は2000年に設立され、お客様一人ひとりに適した催事・観光サービスを提供しています。観光事業では日本人観光客を対象に自然観察・体験や娯楽特別プログラム等を企画から実施、必要に応じて日本語ガイドも同行し、楽しい思い出作りにも協力しています。

ご質問の際、気軽にお問い合わせください。

連絡先: TRAVEL WAY TURISMO E EVENTOS
電話番号: +55 (67) 3326-3326
メールアドレス: contato@travelway.tur.br
サイト: www.travelway.tur.br

Discautol

優良経営、販売数、お客様満足度一
ドイツ本社から数多く受賞している代理店です

Discautol - Concessionária Premiada Gold Pin Volkswagen Alemanha
Excelência em Gestão, Vendas e Satisfação do Cliente

Discautol

Campo Grande | Três Lagoas | Chapadão do Sul | MS | Brasil
www.discautol.com.br

カンボ・グランデ 沖縄移民百年



一世紀の節目祝う 喜びに沸くカンポグランデ



- 功労者表彰**
- 島田房文
 - 玉城ジョルジエ・テツオ
 - 平良ヨルジエ・テツオ
 - 宮里和直
 - 我古レダ・トシ
- 高齢者表彰**
(80歳以上)
- 新垣ジョゼセイシヨウ
 - 源河マリア宮城
 - 源河ヨシ
 - 比嘉ルイスヤスユキ
 - 外間セイエイ
 - 小波津ジョンユウキチ
 - 小波津マサノリ
 - 仲宗根ヨシタカ
 - 大城亀次郎
 - 大城ルイスアキラ
 - 志良堂フランシスコセイキ
 - 玉里ウサチヨコ
 - 知花リータ
 - 福地テルコトク
 - 外間ヤエコ
 - 宮城シンセイ
 - 大城春子
 - 大城ノボル
 - 崎山幸進
 - 島田房文
 - 島田ノブコ
 - 志良堂ハワロセイシヨウ
 - 平良マサユキ
 - 知花マウリシオ
 - 上地リリテル
 - 山城コウホウ
 - 新里デルコ
 - 与那嶺ケンジ
 - 安慶名ラウリタツルコ
 - 源河ユキミツ
 - 宮城リエイ
 - 宮里キヨコ
 - 津波平幸
 - 外間ミツコ
 - 与那嶺セリアマサコ
 - 安谷屋エイユウ
 - 安谷屋ケンユウ
 - 新垣フランシスコタケヒロ
 - 仲里セリア
 - 島田房夫
 - 内間セイソウ
 - 瑞慶覧オツコ
 - 安谷屋カンシダ
 - 安谷屋セイキ
 - 片山アネシア源河
 - 勝連安子
 - 小波津オキンダツルコ
 - 仲里セツコ
 - 大城マサエ

Parabens! おめでとうございます!

- 大城セイキ
- 大城トシコ
- 大城ヤスオ
- 城間ソウシン
- 城間ケンセイ
- 渡久山セイシユン
- 山里ナイル仲尾
- 安谷屋シズコ
- 新垣ツルコ
- 比嘉信光
- 川平マリアシゲコ
- 饒波イザベルセツコ
- 大城イザリア
- 嵐路ジャンジラトシコ
- 比嘉敏夫
- 宮城ローザ
- 大城ツネトシ
- 城間ハツエ
- 山里アーナ
- 山里エイキ
- 山里キヨハル
- 国吉ミヨコ
- 宮平アメリカ
- 西平モリタタ
- 大城チユウスケ
- 新垣シゲ
- 新垣ユウキ
- 安里テラザ
- 宮平ツタコ
- 宮里初子
- 新里善市
- 沢嶋ヨシコ
- 上里アキ
- 大城繁信
- 和久田シヤキオ
- 屋富祖キクコ
- 新垣秀雄
- 仲里シンジ
- 平良フミコ
- 知花トヨコ
- 新垣エイキ
- 比嘉キヨ
- 荻堂キヨ
- 玉城松太郎
- 知花トヨコ
- 桃原ヨシコトミ
- 上地エイコ
- 与那嶺鶴子
- 知念トヨ
- 古堅キヨ
- 外間ハツエ
- 新地トミ
- 宮平ラウロ
- 宮里初江
- 島袋キヨ金城
- 山里正春
- 新垣正栄
- 新垣トミ
- 外間ウト
- 宮城コウシヨウ

カンポグランデの県人入植100周年をお祝いします!

PARABÉNS PELO CENTENÁRIO DA IMIGRAÇÃO JAPONESA DE OKINAWA EM CAMPO GRANDE

ブラジル沖縄県人会 ASSOCIACAO OKINAWA KENJIN DO BRASIL	
会長 Presidente	田場 ジョルジ JORGE TABA
副会長 Vice Presidente	島袋 榮喜 EIKI SHIMABUKURO
第二副会長 2 Vice Presidente	知花 ルイス RUI CHIBANA
第三副会長 3 Vice Presidente	松堂 忠賢 CHUKEN MATSUDO
第四副会長 4 Vice Presidente	西原 正三 SEIZO NISHIHARA
第五副会長 5 Vice Presidente	垣花 輝明 KIMEI KAKINOHANA
第六副会長 6 Vice Presidente	比嘉 パウロ PAULO HIGA
ポ書書記 Secretário (Português)	小波津 セルジオ SERGIO KOHATSU

日語書記 Secretario (Japonês)	池原 昭子 AKIKO IKEHARA
会計 Tesoureiro	目差 ジョン JOAO MEZASHI
第二会計 2 Tesoureira	平良 栄子 HEICO TAIRA
理事 Diretoria	屋比久 孟賢 MOUKEN YABIKU
理事 Diretoria	中曾根 勝 NAKAZONE MASARU
理事 Diretoria	伊集 せいぞう SEISO IZU
理事 Diretoria	金城 ルイス LUIZ KANASHIRO
理事 Diretoria	亀谷 よしたけ YOSHITAKE KAMEYA
理事 Diretoria	仲田 直 NAKADA SUNAO
理事 Diretoria	呉屋 りよとく RYOTOKU GOYA

理事 Diretoria	上原 ジョン JOAO UEHARA
理事 Diretoria	儀間 マリオ MARIO GUIMA
理事 Diretoria	吉岡 かずよ KAZUYO YOSHIKA
理事 Diretoria	上原 テリオ TERIO UEHARA
理事 Diretoria	高良 つねお TSUNEO TAKARA
理事 Diretoria	比嘉 ジョゼー HIGA JOSE
理事 Diretoria	西銘 達雄 TATSUO NISHIME
理事 Diretoria	翁長 清 KOYOSHI ONAGA
理事 Diretoria	喜納 ジョルジ JORGE KINA
理事 Diretoria	上原 ルイス LUIZ UEHARA

理事 Diretoria	金城 せいしよ SEISHO KANASHIRO
理事 Diretoria	国吉 涼子 RYOKO KUNIYOSHI
理事 Diretoria	具志堅 シゲ子 SHIGEKO GUSHIKEN
理事 Diretoria	源河 シダ CIDA GUENKA
理事 Diretoria	呉屋 晴美 HARUMI GOYA
理事 Diretoria	比嘉 アナマリア ANA MARIA T HIGA
理事 Diretoria	島袋 よりこ YORIKO SHIMABUKURO
理事 Diretoria	カトウ ロベルト KATO ROBERTO
理事 Diretoria	ナカチ アウロラ NAKATI AURORA
理事 Diretoria	米須 せいそう SEISO KOMESU

カンポ・グランデ

沖縄県人移住百年のあゆみ

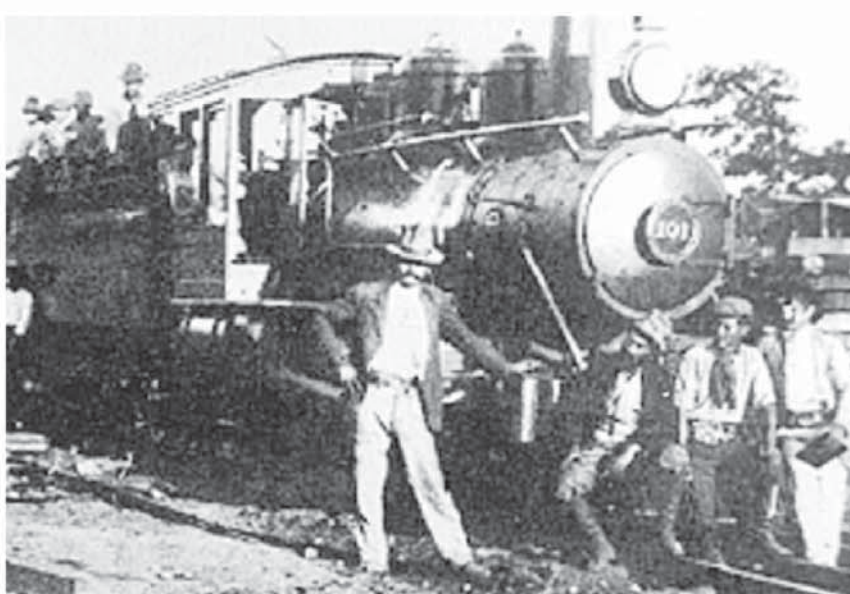
精神で 困難乗り越え

魂で 市発展に貢献

乾季が訪れると赤い砂が舞い上がる、「シダー・モレーナ」(褐色の町)と呼ばれるカンポ・グランデ。人口わずか2千人にすぎなかった1914年、ポルト・エスベランサ(南麻州)コロンバ市、ボリビアとの国境近くから東へと進んだ敷設工事と、同州トレス・ラゴアス市(聖州との州境)から西進した工事が同市で接合し、パウロ・コロンバの両市を結ぶノロエステ線が完成した。一部の工夫が完了後も居残り、駅裏に小さな植民地を拓いたのが当地コロニア始まりだ。

沖縄移民のブラジル移住

「金のなる木」を求めて



鉄道敷設工事には沖縄県人が携わり、カンポグランデの日系コロニアの歴史が始まった

耕地面積も資源も乏しい沖縄での庶民の生活は貧しく、国の経済は海外との交易に頼っていた。1900年にハワイへの出稼ぎ移民が盛んになると、一部の成功者が故郷に送金して話題を呼んだ。奴隷解放により労働力が不足したブラジルが移民導入を始めると、カンポ・グランデには「金のなる木、コーヒーがある」と当地への移民が急増し



ハンジャ日本語学校の児童と教師(1918年)



戦前に立てられたカンポ・グランデ沖縄県人会館



カンポ・グランデ駅プラットフォーム

初の日語学校設立
18年、同市に居残った大城浦戸、赤嶺徳・魚兄弟、外間源休、大城次郎らが中心となって、大城次郎が波平(沖縄)の方言で「日本語学校」を設立した。アンデス山脈を徒歩で越え、アルゼンチンから、ハンジャ学校に到着した。これが現在市内にある、ハンジャ日本語学校の前身である。

沖縄県人会支部の誕生
完工から6年目を迎えた1920年に日本人会が、22年にカンポ・グランデにもその支部が設立された。第二次世界大戦の勃発により活動停止に至る。戦後は、勝ち組・負け組の別なく、母国への救援活動で活躍した。第二次世界大戦により、移民の流れにも10年近くの空白期間が生じたが、1952年に赤嶺徳一家が呼び寄せられたのを皮切りに、黄金期

移民黄金期の到来
市の発展を支える県系人
戦前の百姓は戦後、中産階級となり、農地も大資本の機械化農園に様相を変えた。今ではコロニアは三世、四世の時代となり、約1万5千人の日系人(市の人口は約80万人)が農業をはじめ、商業、政治、教育、文化等の多岐に渡る分野で活躍し、市の発展を支えている。「カンポ・グランデ日系コロニアの歩み」を写真で見ると、沖縄県人移住史、編纂委員会提供

マッタ・ド・セグレイド植民地の小学校終了記念と入植20周年記念運動会(1937年)



パンデイラ植民地を築き上げてきた人々の錦衣帰国の送別記念(1931年)



セーララ植民地入植10周年記念(1936周年記念)

歓迎 カンポグランデ沖縄県人移住100周年慶祝団

- 沖縄県副知事ご一行: 高良 倉吉, 比嘉 哲博, 下地 誠, 呉屋 良松, 西宮 翔太, 当山樋口 弘, 金良多恵子, 上原久美子, 仲宗 根陸
町役員会: 国頭村 宮城 久和, 東村 金城 紀昭, 恩納村 志喜屋 文康, 伊江村 島袋 郁夫, 読谷村 石嶺 傳實, 嘉手納町 照屋 清秀, 北谷町 野国 昌春, 北中城村 宮里 友常, 与那原町 花崎 為継, 八重瀬町 識名 盛紀, 知念 昭則
那覇市訪問団: 翁長 雄志, 安慶田 光男, 又吉 盛斗, 大嶺 祥史, 上原徳 一郎, 稲嶺 進, 比嘉 達也, 石川 優子, 比嘉 レアンド

田場ジョージ
ブラジル沖縄県人会・ブラジル沖縄文化センター会長



Mensagem

É com imensa satisfação que comemoramos o Centenário da Imigração em Campo Grande. Em nome da Associação Okinawa Kenjin do Brasil parabenizo esta grandiosa festa em comemoração ao Centenário, realizada com grande esforço e empenho pela comissão organizadora e sua comunidade. Hoje, a comunidade de Mato Grosso do Sul possui muitas pessoas que contribuíram com a sociedade brasileira e sem deixar de falar do Okinawa Sobá, considerado como comida típica. Tudo isso é fruto do esforço dos imigrantes e seus filhos que mesmo com as dificuldades encontradas de viver numa terra longínqua, com costumes e língua diferentes. Em nome da Associação Okinawa Kenjin do Brasil e do Centro Cultural Okinawa do Brasil, desejo que continuem com esse trabalho e também agradecemos o apoio que sempre recebemos.

JORGE TABATA
Presidente
da Associação Okinawa Kenjin do Brasil e Centro Cultural Okinawa do Brasil

祝辞

カンポ・グランデ入植百周年を迎えられたことを、心よりお喜び申し上げます。入植されて以来、気候風土、言語、生活習慣などの異なる厳しい状況下で、幾多の困難を乗り越え、今日のカンポ・グランデの県人社会の基礎を築かれました。

その結果として、現在はブラジル社会に貢献している多くの優秀な人材を輩出し、更に「沖縄そば」は地域を代表するまでに至りました。

これもひとえに、皆様の並々ならぬ努力の賜物であり、心から敬意を表します。最後に、カンポ・グランデの益々のご発展と皆様のご活躍とご健勝を祈念し、祝辞とさせていただきます。



記念碑の除幕 [写真提供= Marlon Ganassin/Portal PMCG]

記念碑「希望の大地」堂々と
移民が降り立った駅近くに



州知事、高良副知事、喜納昌春議長 (右端)

「文化だけではなく、経済交流も始めたい」と交流活性化に意欲を燃やしている県人会の願いもあり、翌日は記念式典に先立ち、第1回沖縄県と南麻州の懇談会も開かれ、州知事、高良副知事、喜納昌春議長らによる懇談会が行われ、両州間の交流促進に向けた話し合いが行われた。

文化、経済交流を目指し
プシネリ州知事を表敬訪問
沖縄県政府代表団および、日、州政庁を訪問した。プシネリ州知事、高良副知事、喜納昌春議長らと、人との文化・技術交流を...

沖縄県移民入植百周年記念石碑の除幕式が、13日夜にあった。移民たちが降り立った元ノロエステ鉄道駅近くの公園に設置された。慶祝一行をはじめ、ジウマール・アントゥネス・オラルテ市長、島袋エジソン市議ら多くの来賓が出席し、先駆者の苦労に思いを馳せた。市民への感謝が日葡両語で刻まれた。

ASSOCIAÇÃO OKINAWA DE CAMPO GRANDE-MS
Jorge Joji Tamashiro
Presidente do Conselho - 玉城ジョルジ 説二 - 評議員会長
Embaixador da Comunidade de Okinawa - 新ウチナー民間大使

ブラジル沖縄県人会
ASOCIAÇÃO OKINAWA KENJIN DO BRASIL
ブラジル沖縄文化センター
CENTRO CULTURAL OKINAWA DO BRASIL
名誉会長 山城 勇
終身評議員 ISAMU YAMASHIRO
Presidente Honorário

ACB カンポグランデ・野球協会
ACB - Associação Campograndense de Beisebol
Utilidade Público Municipal Lei nº 2.217, de 12/09/84 Utilidade Público Estadual Lei nº 2.570, de 18/12/02
ASOCIAÇÃO CAMPOGRANDENSE DE BEISEBOL
Presidente Executivo OCTACILIO SAKAI
会長 酒井 オタシーリオ 進
Tel: (67) 8134-0065 / 3306-2652
Av Senador Filinto Müller, 10 - Jd. Aero Rancho CEP 79080-190 - Campo Grande/MS

ASSOCIAÇÃO OKINAWA DE CAMPO GRANDE-MS
Nilton Kiyoshi Shirado
会長 志良堂 ニウトン きよし
Presidente

ブラジル沖縄県人会
ASOCIAÇÃO OKINAWA KENJIN DO BRASIL
ブラジル沖縄文化センター
CENTRO CULTURAL OKINAWA DO BRASIL
元事務局長 謝敷 宗光
Jashiki Munemitsu
Ex Diretor Secretário Geral

PBX代理店
ELETTODIGITAL
Soluções em Telecom
宮里 和直
Kazunao Miyazato
Diretor Presidente
名護出身 県人会理事

ブラジル沖縄県人会
ASOCIAÇÃO OKINAWA KENJIN DO BRASIL
ブラジル沖縄文化センター
CENTRO CULTURAL OKINAWA DO BRASIL
編集委員長 宮城 あきら
AKIRA MIYAGI
「写真で見ると沖縄県移民史」編集委員会
「1 Século da História da Imigração de Okinawa no Brasil vista em Fotos」

祝 移民入植100周年
おめでとうございます。
A Anew parabeniza a
província de Okinawa/ Japão
pelos 100 anos de imigração
em Campo Grande
Água Mineral: (67) 3250-1515 | Produtos: (67) 3325-7065

3028-5412 YAKI SOBA
Restaurante
Do Joshio
Casa de Carne
Boi Gordo
和 Wagyu牛
Saúde para todos! 3044-0025

カポ・グランデ沖縄移民百年

あまぎくくるの精神 永遠に

式典に約6百人、先人偲ぶ

母島の大型慶祝団が来伯

沖縄県系人の大集団地、南麻州カンポ・グランデ市で沖縄県移民入植百年が盛大に祝われた。1914年に完成したノロエステ線の敷設工事に携わった県民の一部が住み着いたのが始まり。市の日系人1万5千人のおよそ7割が県系人と言われる。14日は母島から高良倉吉副知事はじめ約70人の慶祝団を迎え、同市沖縄県人会が盛大に記念式典を開催した。ハワイ、ボリビア、聖市からも多数の慶祝団が出席。約600人が一堂に会し、先人の労苦に感謝を捧げるとともに、カンポ・グランデと沖縄県、南麻州との永い友好を誓った。



■若者による舞台上は慶祝団も感激



志良堂ニウトン同市沖縄県人会会長は「われわれ子孫は先祖の努力の賜物。先人の精神を大切にしよう」と話し、「にふえーでーびる」(ありがとう)と話し、うちなーぐちで挨拶を締めくくった。

沖縄県人会本部の島袋栄喜副会長は「カンポ・グランデは一番早く県人会を創設し、苦勞を

志良堂ニウトンきよし 母島沖縄県人会会長



Comemorar o Centenário da Imigração Japonesa de Okinawa é reverenciar nossos antepassados, dar o reconhecimento e o devido valor aquilo que nossos avós e para muitos, bisavós, fizeram para nós. Sem dúvida somos frutos do esforço e dedicação de nossos ancestrais. Esforços que nos permitiram estudar e valorizar aquilo que temos de mais importante:

a nossa família. Apesar das dificuldades enfrentadas naquele tempo, nossos avós não estavam preocupados em acumular riquezas, mas sim em educar e trabalhar para dar uma vida digna, com simplicidade em uma terra até então desconhecida. Hoje após 100 anos da imigração, vemos que tudo aquilo que fizemos, valeu a pena. Se hoje temos em nossa sociedade grandes profissionais, funcionários públicos e empresários descendentes nipônicos, é resultado do suor de nossos ancestrais. Podemos ver a influência da cultura japonesa espalhada por toda a nossa Capital. Prova disso é o "sobá", prato típico da Província de Okinawa, que foi introduzido na culinária campo-gradense com muito sucesso. Finalizo agradecendo à toda diretoria executiva, aos nossos conselheiros, às senhoras do Fujinkai, aos nossos irmãos campo-gradenses por ajudar a preservar a cultura dos nossos avós.

Muito Obrigado!

NILTON KIYOSHI SHIRADO

Presidente da Associação Okinawa de Campo Grande

祝辞 沖縄県知事

仲井眞弘多

カンポグランデ入植100周年記念式典が盛大に挙行されますことを心からお祝いたします。

ノロエステ線鉄道がポルト・エスベランサから東進工事とトレス・ラゴアスからの西進工事により接合1914年、沖縄県からの移住者がこのカンポグランデの大地に第一歩を印してから100年が経ちました。

気候風土、言語生活に慣れた異文化を、状況下で、県人同士が互いに助け合い、知恵と勇気を振り絞り苦難を乗り越え今日の社会基盤を築いたその苦勞に対し、心より敬意を表します。

ウチナー文化が大きく開花し、様々な分野で活躍し、同国の発展に寄与されていることは、われわれ沖縄で暮らすウチナーンチュにとって大きな誇りです。

沖縄県では2016年に、世界中の沖縄県系人が一堂に会する「第6回世界のウチナーンチュ大会」が開かれます。多くの方々が参加いただけることを県民一同心から

御努力はもとより、国民の皆様のご理解と御支援があったからこそ、政府関係者、国民の皆様、深く感謝の意を表します。

お持ちしています。式典の開催に御尽力された志良堂ニルトンキヨシ会長をはじめ、カンポグランデ沖縄県人会関係者、お集まりの皆様、御活躍並びに沖縄県とブラジル連邦共和国を結ぶ絆が一層深まることを祈念し、お祝いの言葉といたします。(高良倉吉副知事代読)「写真」ウィキペディアより

乗り越えてコロナを乗り越え、我々もその心意気を受け継ぐ」と話した。稲嶺進名護市長は「ちむくくる」「ゆいまるる」(助け合い、相互扶助の意)の精神がこの町にも根付いてほしい」と、うちなーぐちで挨拶し、拍手喝采を浴びた。

■高良副知事から80歳以上の高齢者に表彰状が贈られた

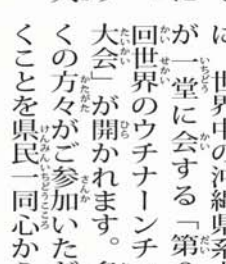


後、夜更けまで晩餐会が開かれた。



ハワイ慶祝団の皆さん、手前左は読谷村立喜名小学校の古謝敦子教諭

■ボリビア沖縄県人会の知念良信会長



与那原町議会の識名盛紀議長(62、与那原)は「最高だった! 沖縄ではもううちなーぐちを使わないのに、こちらでは皆が話すので、まるで沖縄全体がブラジルに移った感じ。ここには本物のウチナー文化が残っている。僕の小さい頃のように、涙が出たと感極まった様子で話した。



■ボリビア沖縄県人会の知念良信会長



めんそーれ カンポ・グランデ! 100 anos da Imigração Japonesa de Campo Grande

ASSOCIAÇÃO OKINAWA DE CAMPO GRANDE MS

カンポグランデ沖縄県人会

Presidente NILTON KIYOSHI SHIRADO

会長 志良堂 ニルトン キヨシ

DIRETORES E ASSOCIADOS 理事、会員一同